

経営比較分析表（令和6年度決算）

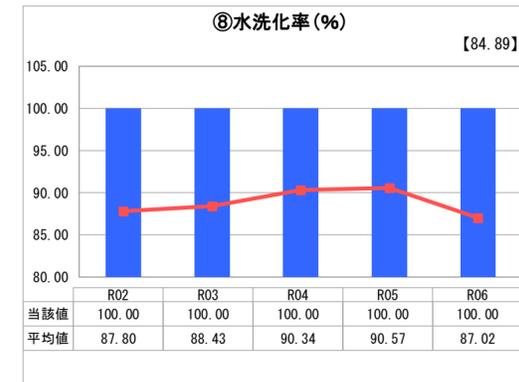
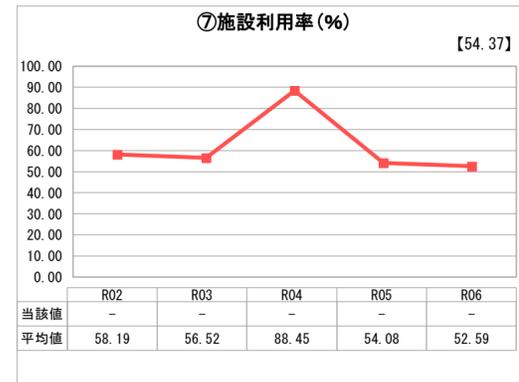
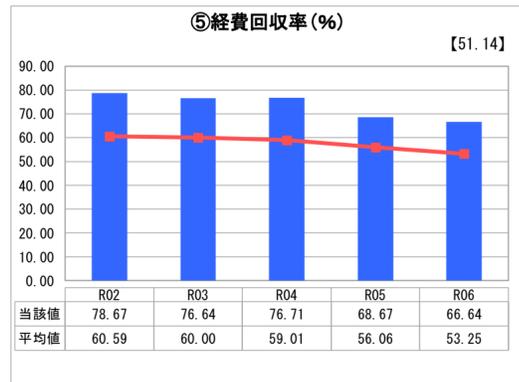
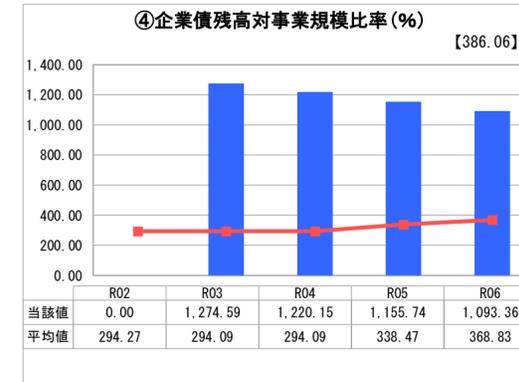
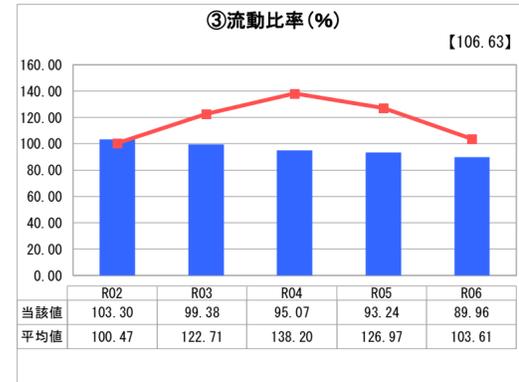
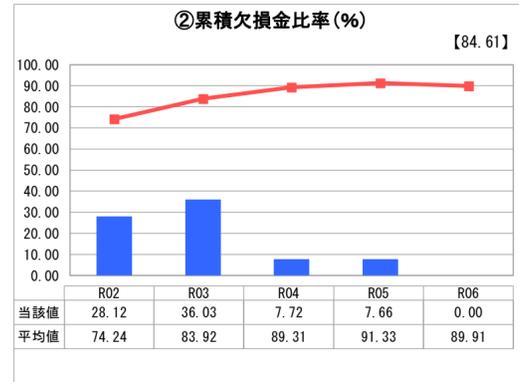
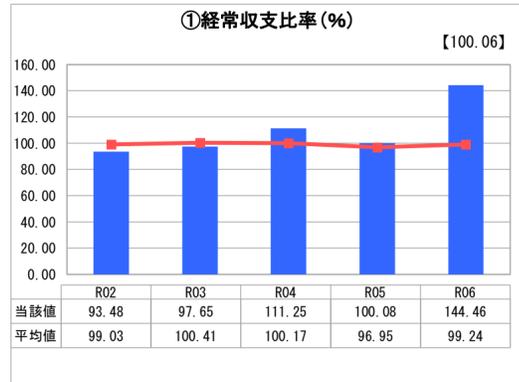
福井県 越前市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	△452.28	1.22	100.00	4,180

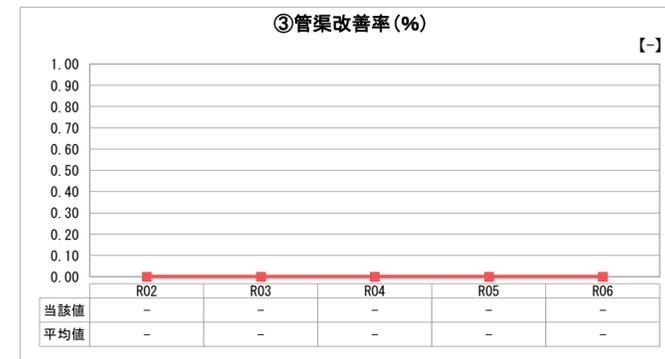
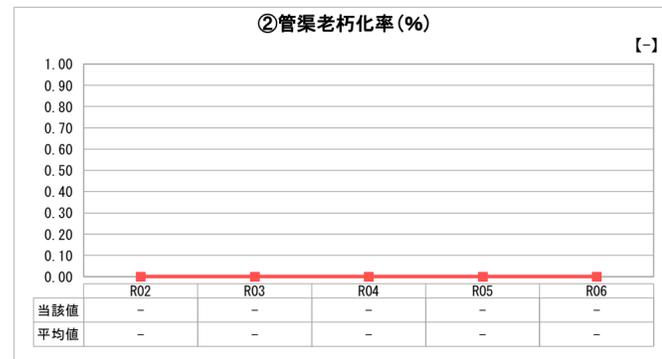
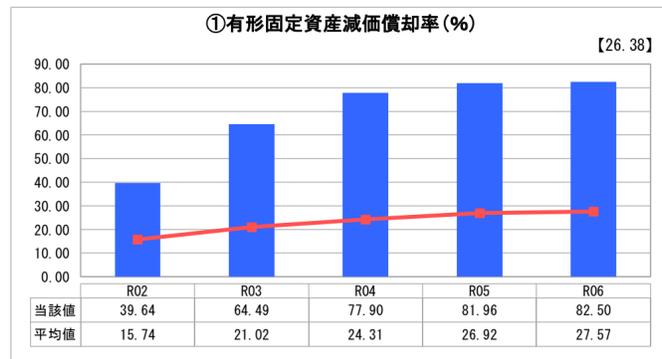
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
80,418	230.70	348.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
980	4.45	220.22

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、約400世帯を対象として平成15年に供用開始し、令和2年度から地方公営企業法の全部適用を受けた。水洗化率100%、使用料収入や維持管理その他経費に大きな変化はない。ただし、①については、一般会計より基準外繰入を受けての結果であり、今後は企業会計決算の分析を進め、さらなる経営健全化に取り組む必要がある。なお、本事業は、市が各世帯に合併処理浄化槽を設置し、使用させることで公共水域の保全を図る事業であり、その使用料は世帯人数に応じた料金体系であることから、実際の排除汚水量の把握を行わず、⑦の指標には表れない。

2. 老朽化の状況について

本事業は平成15年度に事業を開始し、最古浄化槽は設置から約21年が経過し、令和5年度末の有形固定資産減価償却率は82.5%であり、修繕・更新が必要なものが出ている。本浄化槽の維持管理業務委託先である（一社）越前市浄化槽維持管理協会において、令和2年度から、老朽化が進んだ浄化槽を事前にピックアップし、委託料の範囲内で順次予防保全を行い、老朽化対策を実施している。

全体総括

本事業は、今後新たに浄化槽を市で設置することは考えておらず、また、人口減少にある地域で実施していることから、加入者増加や収益増加による経営改善は見込めない中、資金不足を補うために基準外繰入を受けている状況にある。このため、事業の安全かつ安定的な継続に向け、⑤⑥の改善とあわせて老朽化した浄化槽の予防保全を進めるとともに、公共下水道事業などほかの4事業とともに、適正な使用料の検討や水道事業との業務一元化、アウトソーシング推進による経費削減などに取り組み、経営改善を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。